

授業科目名	記録管理概論(記録情報管理士準備講座3級対策)		
担当者名	八木 信幸(実務家教員)		* 全12回授業を担当
開講年度学期	2024年度 前期	授業形態	対面授業・遠隔授業
単位数	2	授業区分	週間授業
授業の概要	<p>近年、記録管理へのニーズや関心が非常に高まっている。官民を挙げてDX推進が取り組まれているが、DX(デジタルトランスフォーメーション)の要となるのが情報であり記録なのである。DX推進の一例として、電子帳簿保存法改正法が2022年1月に施行され、2023年10月からはインボイス制度がスタートした。DX推進では「電子化の推進」という部分にばかり目が行きがちではあるが、これらも記録が適切に管理される仕組みが前提となっている。</p> <p>本講座では、組織における記録管理に焦点をあて、文書管理総論、紙のファイリングの手法や電子文書管理の基礎、アーカイブズ、機密情報管理など記録情報管理の全体像を把握できるよう講義するとともに、実習等を通じて問題解決能力を育成する。</p>		
授業の到達目標 及びテーマ	<p>到達目標:経済指標などの基本的な知識や身近な生活経済の諸問題を体系的に理解し、私達のくらしが経済社会と密接にかかわっていることを理解します。市民の視点で経済社会とのかかわりを考察できる「賢い・自立した生活者」になることを目指します。</p> <p>テーマ:経済データの見方、経済の仕組みや時事的動向、少子高齢社会を受けた家計構造の変化や金融資産管理、全世代型社会保障のあり方、地球環境問題や持続可能社会形成に向けて消費者や企業が取り組むべき視点等、消費生活を多面的な視野から学びます。</p>		